

P. S. アイラヴユー

2008年10月18日(土) 有楽座ほか全国拡大ロードショー

© 2007 CUPID DISTRIBUTION LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

配給:ムービーアイ+東宝東和

監督:リチャード・ラグラヴェネーズ『Freedom Writers』
脚本:リチャード・ラグラヴェネーズ『マディソン郡の橋』(脚本)、
ステイブン・ロジャース『ニューヨークの恋人』
音楽:ジョン・パウエル
原作:セシリア・アハーン(訳:林真理子)『P.S.アイラヴユー』(小学館刊)
キャスト:ヒラリー・スワンク『ミリオンダラー・ベイビー』

P.S. I love you.

Sometimes there is only one thing left to say

最後に言いたい言葉はただひとつ、「あいしてる」



突然死んでしまった最愛の夫から届けられた最後のプレゼント、それは“消印のない”10通の手紙だった。

一人寝のベッドはポツカリ大きな穴が開いたようでむなしさばかりがホリーを包み、茫然自失の時間が流れるばかりだった。



Whether it happened in ten months or ten years, Holly would obey Garry's final message, Whatever lay ahead, she knew she would open her heart and follow where it led her.

In the meantime, she would just live.

10ヶ月先のことか10年先のことかわからないけれど、ホリーはゲイリーが遺してくれたメッセージどおりに、何が待ち構えていても、心を開いて歩み続けるだろう。そう、とにかく生きて行くのだ。



原作者のセシリア・アハーンは1981年9月30日アイルランドのダブリン生まれ。父親は第10代アイルランドの元首相バーティ・アハーン。『P.S. アイラブユー』は21歳の時の処女作。42カ国で出版され（日本語訳・小学館刊）、全世界で500万部以上のベストセラーとなった。

解説： 吉井ちづ子（翻訳家）